

岐阜市で3月8日、ラグビーオールスター戦

PR役、薫田さん(各務原市出身)就任



ラグビーのトップリーグオールスターチャリティーマッチの成功を誓った関係者ら。左から2人目が、大会PRアンバサダーの薫田真広さん(各務原市出身)＝県庁

県庁で記者会見があり、古田肇知事、薫田さん、県ラグビー協会の藤井孝男会長、特別協賛するパログループの田代正美社長らが出席。薫田さんは「ラグビーは少年を成長させ、リーダーを発掘育成し、大人に子どもの

ラグビーの「トップリーグオールスター『FOR ALL』チャリティーマッチ2015 in 岐阜」が3月8日、岐阜市で開催されることが20日、正式に発表された。大会PRアンバサダーに、ワールドカップ(W杯)2019日本代表戦略室長の薫田真広さん(48)＝各務原市出身＝が就任することも明らかになった。(馬田泰州)

会場は岐阜市長良福光の岐阜メモリアルセンターで、キックオフは3月8日午後1時。国内最高峰のトップリーグのオールスター選手による試合で、県、岐阜新聞・ぎふチャンネルなど後援。収益の一部は県に寄付する。

薫田さんは岐阜工業高校、筑波大を経て東芝府中(現・東芝アレイブルーパス)で活躍。日本代表キャップ(出場試合)数は44で、監督としてトップリーグ3連覇を果たし、日本A代表監督を務めるなど指導者としても実績を挙げている。

心を出させる素晴らしいスポーツ。日本最高のプレーを子どもたちに見てもらえば県のレベルアップにつながる」と述べ、1万人の来場を目指すとした。

古田知事は、19年のW杯に向け合宿を県内に誘致する考えをあらためて示し、「トップ選手プレーを岐阜で見せていただくことで、県内の関心を高めたい」と期待を寄せた。

日本最高峰のプレー見て